

地域安全ニュース

令和8年5月20日発行
令和8年度第2号
安平町防犯協会

初夏の「隙」を狙わせない ～施錠の徹底と巧妙な「闇バイト」「詐欺」への警戒～

丘陵を鮮やかに染める菜の花の香りが漂い、町内も活気に満ちた季節となりました。この時期に開催されている「菜の花さんぽ」には多くの観光客が訪れており、農家の皆様は、一分一秒を惜しむ農繁期のピークを迎えています。

こうした「多忙」や「行楽」の裏側には、犯罪者が狙う「隙」が潜んでいますので、今回は私たちの日常を守るための3つの重点ポイントをお伝えします。



■「無施錠」が招く被害を防ぐ

気温が上がリ、窓を開ける機会が増えますが、就寝時や外出時の閉め忘れによる「忍び込み」には注意が必要です。

また、農作業や菜の花の撮影中など「短時間だから」と車や家を無施錠にすることは大変危険です。

北海道警察の統計でも、窃盗被害の多くが「鍵のかかっていない場所」で発生していますので、作業中や外出時は、玄関や勝手口、車のドアに必ず鍵をかける習慣を身に付けましょう。



■一生を台無しにする「闇バイト」の恐怖

SNSを中心に「高額報酬」「即日入金」などと宣伝して、強盗や詐欺の実行犯を募集する「闇バイト」が社会問題となっています。一度応募して個人情報を送ると、本人だけではなく、家族への危害を脅し文句に使われ、抜け出せなくなるケースもあります。

町内の若者が加害者にならないよう、ご家庭でも「楽に稼げる仕事はない」ことについて話し合ってください。また、こうした闇バイトから送り込まれた「実行犯」を町内に入れないよう、不審な訪問者や見慣れない車には十分警戒しましょう。

■還付金詐欺とSNSの罠

還付金を装った「詐欺メール」や「不審な電話」が確認されています。役場職員や税務署職員を名乗り「還付金があるためATMへ」などと促す連絡はすべて詐欺です。

また、写真をSNSに投稿する際は、背景から自宅などが特定されないよう注意しましょう。地域をまたいで広がるネット上の脅威に対し、正しい知識を持つことが大切です。

このまちの美しい景観と皆さんの笑顔を守るため、一人ひとりが高い防犯意識を持つことで、犯罪の入り込めない地域をつくっていきましょう。

不審者や不審車両を見かけたら

警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎ 0144 35 0110

追分駐在所 ☎ 25 2003

安平駐在所 ☎ 23 2339

早来駐在所 ☎ 22 2030

遠浅駐在所 ☎ 22 2211

役場総務課 ☎ 22 2511